

国際ロータリー第2840地区<群馬>2013-2014年度

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER
to Rotary club presidents and secretaries



群馬県のマスコット
「ぐんまちゃん」
許諾第25-190330号

2014
5



本田ガバナー事務所

〒371-0855 群馬県前橋市問屋町2-2 前橋問屋センター会館1F
TEL:027-212-2840 FAX:027-212-2841
E-mail:honda@rid2840.jp

5月号
Vol.11

2014年5月1日発行

本年度の新会員 Our New Hope (2013年7月～12月入会者)



新井 仁



江原 友樹



熊木 義隆



斉藤 美絵



中村 敬太郎



中村 有香



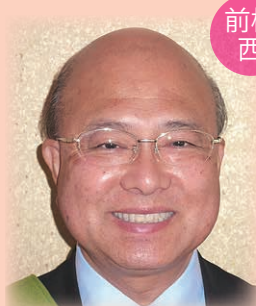
日高 健次



藤原 昌幸



森澤 泰治



小林 和義



茶野 栄一



吉井 伸之



池田 貴明



大島 秀行



川田 寛善



栗原 好保



鈴木 卓弘



金子 渡



杉木 基泰



石井 末弘



「ガバナー月信」5月号目次

表紙	01
目次	02
ガバナーメッセージ	03
インターアクト海外研修報告	04
第2回 地区補助金審査会開催報告	06
ロータクト第14回地区年次大会開催報告	08
竹内年度行事開催報告	
「第2回ガバナー補佐・委員長合同会議」報告	09
竹内年度行事開催報告 地区研修・協議会を終えて	10
IM (Intercity Meeting) 報告 [第2分区A]	11
IM (Intercity Meeting) 報告 [第2分区B]	13
周年記念式典報告 (高崎RC 60周年)	15
周年記念式典報告 (高崎セントラルRC 15周年)	16
周年記念式典報告 (伊勢崎RC 60周年)	17
周年記念式典報告 (前橋RC 60周年)	18
パストガバナーエッセイ (牛久保パストガバナー)	21
本田ガバナー・コラム「ロータリーの誤解・正解」	22
クラブ便り	23
地区主要行事一覧および周年行事予定クラブ	
竹内年度行事予定表	25
新会員紹介	26
文庫通信	27
出席報告	28
ガバナー月信についてのお願い／編集後記	29



ガバナーメッセージ

5月は、私たちの年度の残された課題に取り組む
ラストスパートの月です。

2013-14 年度

ガバナー 本田 博己

会長・幹事の皆さんこんにちは !!

朗報をひとつ。今年の1月13日をもってインドがポリオ撲滅国になったとお伝えしました(2月号)が、3月27日にWHOは、インドを含む11の国からなる東南アジア地域において正式にポリオが撲滅したことを宣言しました。この地域の人口は18億人で、今回の宣言によって、ポリオ根絶地域に住む人口の割合は52%から80%に拡大しました。残るはアフリカ地域(ナイジェリア)と東地中海地域(アフガニスタン、パキスタン)です。(2830 地区関場慶博 PG からの情報) ポリオ撲滅まで、あと少し。引き続きご支援をお願いします。

2月から3月にかけて、5か所でIM(インターシティ・ミーティング)が開催され、それぞれに趣向を凝らした企画で、私も10年ぶりのIMを大いに楽しんでいます。今月、残る第3分区と第1分区の開催で本年度は終了となりますが、私たちの課題と希望を近隣クラブの仲間と親しく語りあう機会として、来年度も継続することになっています。当地区の新生IMとして定着することを期待しています。

また、先月は、3月のPETSに続いて、19日に地区研修・協議会(従来の地区協議会が名称変更された)が開催されました。田中作次RI直前会長に特別基調講演で素晴らしいお話をいただき、また楽しい質疑応答の時間もあり、竹内正幸ガバナー年度(2014-2015年)のクラブ指導者の皆様のモチベーションも大いに高まったのではないかと思います。

さて、年度末まであと2カ月となったこの5月は、年度初めの7月と同様、「特別月間」の指定のない月となっています。私たちの年度を振り返り、残された課題に取り組むことに集中できる月です。

会長の皆さん! 年度初めに掲げたクラブ運営方針や目標はどこまで達成できたでしょうか。実行計画は予定通り実施することができたでしょうか。年度末(6月末)の会員維持と純増目標は達成できそうでしょうか。大事なものは、年度初めの抱負、「思い」をどこまで行動に移せたか、年度初めより一歩でも二歩でも前進できたか、ということです。

私たちの年度が終わっても、クラブは成長・発展を続けてゆかねばなりません。私たちには、これからも引き続きクラブの成長・発展に寄与してゆく責任があります。気持ちよく、心おきなく次年度のクラブ指導者に運営を引き継ぐことができるよう、最後まで全力で取り組みましょう!!



インターアクト海外研修報告

成長につながる台湾研修

インターアクト委員 天野 純一

3月20日～23日の三泊四日、インターアクトの生徒、新潟7名・群馬21名、ロータリアン5名、ロータリアン令夫人1名、インターアクト顧問教師2名の総勢36名で、中華民国台湾省台北縣三重市・清傳高級商業学校を訪問して参りました。交流会を通して国際理解、親睦を深め、無事に今年度の海外研修を終了しました。

先ず羽田空港で新潟第2560地区、群馬第2840地区インターアクターが合流、団結式を行い緊張した面持ちで飛行機に乗り込みました。

夕刻、台北松山空港に到着すると、国際ロータリー第3490地区三重中央ロータリー（台湾）ロータリアンが出迎えてくれ、初日から熱烈な歓迎を受けました。

その後、夜市を見学しましたが、以前より雑居的な処が少なくなり時代の流れを感じました。夕食は班別に円卓を囲んでの中華料理を頂きました。このころからインターアクターたちの緊張感が解れ和んできた感じで、高校生のコミュニケーション能力の高さに驚いた次第です。ホテルに到着し直に「さよならパーティ」の出し物の練習に移りました。

今年は群馬インターアクターがきゅりーぱみゅぱみゅの「つけまつける」、新潟インターアクターがAKB48の「恋するフォーチュンクッキー」群馬、新潟合同出し物でジェンカを練習、初めての練習で話がまとまらず、練習に入るまで時間がかかりましたが午後9時半頃からスイッチが入り11時過ぎまで、熱心に練習していましたが不安そうでした。

二日目は午前中に市内観光で故宮博物院を見学し歴史にふれ、その後、忠烈祠に行き徴兵制度のある台湾で陸、海、空軍より選抜された兵士による衛兵交代のセレモニーを目の当たりにしました。

午後に清傳高級商業学校を訪問、バスから降りると学校の手前の道から正門を抜け校舎に入るまで清傳高校の生徒が並び手拍子と「みなさん、こんにちは。ようこそいらっしゃいました。」と合唱して日本人生徒のプラカードを持ち大歓迎を受けました。

インターアクターたちはホームステイ先の生徒家族に一晩お世話になり、ロータリアンと顧問教師は国際ロータリー第3490地区三重中央ロータリー例会場で例会に参加、日本の例会と変わりなく、例会後の歓迎懇親会では第3490地区呉ガバナーをはじめ三重中央ロータリー李会長、清傳高級商業学校の歐校長夫妻、三重高校、学校関係者、三重中央ロータリー関係者の皆様と有意義な楽しい時を過ごしました。

三日目の昼は三重中央ロータリアンによる市内観光で「淡水・紅毛城」を案内してくれ、三重中央ロータリアン経営のお店で食事を頂きたくさんのおもてなしを受けました。

夕刻に三重中央ロータリー例会場にインターアクターと合流し「さよならパーティ」に参加。清傳高校の生徒は色々なクラブから和太鼓をはじめ色々な出し物をして楽しませてくれました。一時間ほど過ぎたときに我が群馬インターアクターの出番になり、練習不足を上回る出来で会場を盛り上げてくれました。

パーティが終わってもインターアクターたちはホームステイ先の生徒、家族と抱き合い、泣きながら別れを惜しまました。お見送りも会場からバスまで清傳高校の生徒が並び手拍子と「みなさん、さようなら。また会いましょう。」と送ってくれました。

インターアクト国際交流事業に初めて参加しインターアクトの目標である「国際理解、すべての人々と親善を深める個人的・団体的活動の道を開拓する」に到達できたように思いました。今回で台湾との交流は22回を数えますが、22年前に参加した高校生も40歳になるころです。その成長が楽しみです。

最後に各インターアクト提唱クラブ、インターアクト高校はじめ関係各位のご支援に感謝いたします。





第2回 地区補助金審査会開催報告

熱心な審査が行われる

地区副幹事 長谷 浩克

2014年（平成26年）3月29日（土）10:30～15:30、伊勢崎プリオパレスにおいて第2回ロータリー財団地区補助金審査会が開催されました。

冒頭の伊能富雄ロータリー財団副委員長の開会宣言に続き、竹内正幸ガバナーエレクト及び牛久保哲男ロータリー財団委員長の挨拶、森田高史ロータリー財団補助金委員長による協議の進め方についての説明を経て協議に入りました。

本審査会の内容は、主に以下の4点であります。

1. 当年度（2013～2014年度）実施事業地区補助金報告書審査
2. 当年度（2013～2014年度）グローバル補助金報告
3. グローバル補助金プロジェクトについて
4. 次年度（2014～2015年度）実施事業地区補助金申請書審査

1. 「当年度（2013～2014年度）実施事業地区補助金報告書審査」について

藤丸兼一資金管理委員長の進行により、第1回の審査会の際未提出で今第2回の審査会までに提出された実施報告書及び第1回の審査会でペンディングとなった実施報告書の再審査、計8件の審査が実施されました。実施34クラブのうち、一部書類の不備等が指摘されたものもあり、報告書未提出クラブを含め13クラブについて、次回の最終審査会へ持ち越しとなりました。

2. 「当年度（2013～2014年度）グローバル補助金報告」について

大島秀夫グローバル補助金委員長より、当年度（2013～2014年度）グローバル補助金の報告が行われました。当補助金は前橋・沼田・沼田中央の3クラブが申請実施しており、それぞれの進捗状況の説明がありました。

3. グローバル補助金プロジェクトについて

森田高史ロータリー財団補助金委員長から、「グローバル補助金活用推進プロジェクト」についての提案があり、承認されました。

本プロジェクトは、毎年7万ドル程度ある補助金予算を有効活用するためには、クラブからの申請を要請しているだけでは困難であることなどから、地区としてグローバル補助金活用事業の実施を企画したものであり、東日本大震災の復興にグローバル補助金を活用しようとするものであります。

森田高史ロータリー財団補助金委員長をリーダーとして、被災地へのアプローチを経て具体化し、また、地区内クラブと交流のある海外クラブなどから国際パートナーを確保することにより、「拠出金総額のうち少なくとも30%が、プロジェクト実施国・実施地区以外から寄せられたものでなければならない」という制約をクリアして、本補助金の事業実施を実現する計画です。

本事業が当地区で成功を納めれば、国内各地区への波及も期待でき、被災地域の復興に貢献する事業展開が期待されます。

4. 「次年度（2014～2015年度）実施事業地区補助金申請書審査」について

下井田秀一地区補助金委員長の進行により、審査が実施されました。申請クラブ数は33であり、既に内定となっている申請分の確認や前回の第1回審査会でペンディングとなったものの再審査が実施されました。若干のクラブの申請について不備等の指摘があり、次回の最終審査会へ持ち越しとなりました。

また、次年度の地区補助金予算額が各クラブの地区補助金申請額合計を上回ったため、各クラブへ申請額以上の配分が行われる見込みであります。

高木貞一郎ロータリー財団委員会アドバイザーの総評、生方彰ガバナーノミニーの閉会挨拶、伊能富雄ロータリー財団副委員長の閉会宣言を持って第2回の審査会は終了いたしました。

なお、次回は4月26日（土）に最終審査会が開催され、当年度の報告書や次年度の申請が正式承認となる見込みであります。



国際ロータリー第 2840 地区ローターアクト

第 14 回地区年次大会開催報告

attRACtive

国際ロータリー第 2840 地区ローターアクト

地区ローターアクト代表 萩原 一貴 (太田 RAC)

4 月 13 日 (日) に国際ロータリー第 2840 地区ローターアクト第 14 回地区年次大会を開催致しました。本大会を開催するにあたり、本田ガバナーをはじめ、大会ホストロータリークラブである太田ロータリークラブ、地区内ロータリークラブの皆様の多大なるご支援、ご協力を頂戴し開催に至りましたこと、地区ローターアクト代表として心より御礼申し上げます。

大会当日は 200 名強という多くの皆様にご臨席をいただくことができました。参加者の皆様からは「群馬の個性が出ていてとてもよかった」「ひとつひとつが非常に勉強になった」等々非常に有り難い評価を頂きました。大会はクラブの個性、魅力を存分に発信する活動発表、地区活動の発表、そして今年度海外事業を行いました桐生ローターアクトクラブの 45 周年記念事業についての発表という構成で進めました。クラブの発表では参加者に魅力シートという形で各クラブの魅力について記入していただきました。これは後日集計を行い、クラブへ展開しさらなるクラブ運営の向上に役立てていただきたいと思います。また、この集計データは本大会の Facebook ページ (以下、URL) にて <https://www.facebook.com/rid2840ra.attRACtive20140413> 投稿してまいりますので、ご覧いただけますと幸いです。年次大会の準備は半年前から動き始め、各部門に部会長を配置し組織を構成しました。企画、準備等を通して多くの気づきをそれぞれが感じ、成長に繋がれたと考えています。この経験によりリーダーシップを持った人材を地区内に多く育成することができ、これからの 2840 地区ローターアクトの将来を引っ張る若い世代を作ることができました。これからもローターアクトは自己奉仕、職業奉仕を通して社会への奉仕を行い、社会におけるリーダーとなるべく活動をしてまいります。

結びに本大会開催にあたりご指導いただきましたすべての皆様、そして当日ご臨席いただきました皆様へ感謝申し上げますとともにロータリーファミリーの益々の発展をご祈念申し上げます。



竹内年度行事開催報告

「第2回ガバナー補佐・委員長合同会議」報告

地区幹事 春山 和夫（太田）

4月6日（日）は、快晴でさくら満開の家族サービス絶好の日でしたが、ロータリーを愛する47名の皆様が貴重な一日をロータリー活動に奉げて下さいました。深く感謝申し上げます。前橋問屋センター会館2階の「龍の間」にて12時より16時まで開催致しました。出席者が揃って昼食を楽しんだ後に下記の内容で休憩を挟み、活発かつ有意義な会議となりました。

【スケジュール】

12:00～登録受付・ご昼食（60）

ガバナーエレクト挨拶	ガバナーエレクト	竹内 正幸（5）
地区研修委員長挨拶	地区研修委員長	曾我 隆一（5）
PETSアンケート集計結果	地区幹事	春山 和夫（15）
地区協議会について	ガバナーエレクト	竹内 正幸（30）
質 疑 応 答		
地区運営についての意見交換	地区幹事	春山 和夫（40）
まとめ	地区研修委員長	曾我 隆一（7）
閉会挨拶	ガバナーエレクト	竹内 正幸（2）

昨年12月の第1回合同会議から地区チーム、PETS等の会議を経験してきたため新任のガバナー補佐・委員長の皆様も余裕を持って会議に臨まれていたようです。地区協議会について竹内GEが担当し竹内節が展開されました。地区運営の意見交換は、出席者自らの考えや情報を発信して頂き縦組織の情報が水平展開され情報の共有化が測られたと思います。今後も取入れて運営して参ります。有難うございました。

合掌



竹内年度行事開催報告

地区研修・協議会を終えて

地区幹事 春山 和夫（太田）

拝啓、初夏の候、会員皆様に於かれましては、ますますご健勝のことと拝察申し上げます。

さて、去る4月19日（土）太田市のティアラグリーンパレスに於きまして太田南 RC をホスト、コ・ホストを太田西 RC にお勤め戴き、RI 第 2840 地区の 地区研修・協議会が開催されました。当日は天候に恵まれ地区内の 430 名のロータリアンが集いました。特別基調講演を戴ける田中作次国際ロータリー直前会長も開会から懇親会まで大変ご多用の中私たち 2840 地区のために異例とも思われます長時間のご参加を戴き恐縮至極でありました。田中先生に誠心より感謝申し上げます。

午前 10 時の開会セレモニーにつづき、ガバナーエレクト方針発表、決議、各種表彰、地区委員会報告（4 委員会）昼食・休憩をはさみ、いよいよメインイベントの特別基調講演へと進みました。

例年ですと昼食・休憩の間に相当数のメンバーが姿をお消しになりますが、今回のプログラム構成では、消える場面（消える気持ち）が難しく、ほとんどのメンバーが 17 時 30 分の点鐘まで真剣に聴講されました。特に基調講演は、物音や私語もない静粛な会場に田中先生の声のみが響く 40 分間となりました。講演後、田中先生とロータリアンの質疑応答は、板垣地区幹事の司会のもと活発かつ楽しい 1 時間となりました。気さくで見識優れたご指導、ご意見は、参加者一人ひとりのロータリー活動にとって大変意義ある転換点となったことと確信致します。

今回の地区研修・協議会は、田中作次先生という大きな存在が際立ちましたが、竹内ガバナーエレクト方針、地区 4 委員長報告、3 セッション（地区戦略、会員組織強化、未来の夢計画）の討議等、総花的プログラムでしたが、各ご担当者が用意周到に練り上げたシンプルで理解しやすいプレゼンテーションだったと思います。昨年後半から何度も勉強してきた内容でしたが、430 名という大会議は心地よい緊張の中、連帯感と充実感を有する特別なものとなりました。

17 時 45 分から懇親会が開催され、朝早くから時間を共にしてきた仲間意識の中、開放感を伴い大変盛り上がりました。手に手つないでを歌いながら更にロータリアン同士の絆が強くなりました。大変心に残る地区研修・協議会となりました。ホスト、コ・ホスト RC に感謝しますと共に 2840 地区のロータリアン皆様に感謝致します。ありがとうございました。

合掌



IM (Intercity Meeting) 報告

「クラブの奉仕活動の本音で語ろう」

第2分区Aガバナー補佐 星野 榮助（桐生赤城RC）

平成26年3月22日（土）桐生プリオパレスに於いて、IMが本田ガバナー、足田直前ガバナー、板垣・松島両地区幹事、長谷第2分区A担当副幹事、山田第1分区次期ガバナー補佐を来賓として、また分区内5クラブ160名を超える登録をいただき開催されました。

本田ガバナーは本年度の地区重点目標の一つに「IMを開催し、私たちの課題と希望を確認しよう」を掲げられました。この命題に対しどのようなテーマで開催したらよいのかを検討した結果、標題の「クラブの奉仕活動の本音で語ろう」というテーマで各クラブ毎に代表的なクラブ活動を発表していただき、5クラブの会員に他クラブがどのような奉仕活動を行っているか、情報を共有していただくことを目標としました。当分区では毎年合同ゴルフ大会、合同例会を行っておりますが、他クラブの活動については断片的に知るだけだったと感じておりましたので、このIMが良い機会だったと思います。IMは近接都市の複数のクラブで実施するのが本来ですが、今回は基本に戻り、まず自分たちの分区内をよく知ろうということで第2分区A単独での開催といたしました。

各クラブの発表者とテーマは下記の通りです

桐 生RC	村田勝俊君	「桐生5RCと吉野沢仮設集会所～歌津さ来てけさい～」
桐生南RC	加藤 洋君	「震災！支援と交流。そして・・・」
桐生西RC	高森 勉君	「自閉症・発達障害者を育む活動支援事業について」
桐生中央RC	樋口一枝君	「クラブ自慢」
桐生赤城RC	尾花靖雄君	「桐生赤城RC奨学金事業について」

各発表時間15分でしたが皆様熱弁を振るわれ少々時間オーバー気味でしたが、それぞれの熱意が伝わり、充実した発表会となりました。



第2部は懇親会でアトラクションとして桐生赤城RCご用達の「小田えつこSHOW」で前半は昭和40～50年代の流行歌、後半は演歌、そして最後は桐生5RCの紹介を読み込んだ八木節を演奏しながら本田ガバナーをはじめ多くの方が輪になって踊っていただき終了致しました。なおアトラクション中に寄付を募り、集まったご厚志を桐生西RCの奉仕活動「自閉症・発達障害児者を育む活動支援事業」に贈呈致しました。

今回久しぶりのIMということで大変不安がありましたが、本田ガバナーはじめ来賓のご臨席をいただき、各クラブのご協力、ホストクラブである桐生赤城RC実行委員会の皆さまのご協力により、今回の目的である情報交換・友情交換が出来ましたことを感謝申し上げます。次年度もIMを実施するとの事です、今回を参考により有意義なIMとなることを祈念いたしまして、第2分区AのIMの報告いたします。有難うございました。





IM (Intercity Meeting) 報告

クラブの活性化を目指す第2分区B

第2分区 B ガバナー補佐 久保 勲（伊勢崎中央 RC）

第2分区BのIMは本田ガバナーの提唱する「希望を語ろう」を踏まえて「クラブの活性化」をメインテーマに、平成26年3月23日（日）にニューいづみに於いて開催致しました。

当日は本田ガバナー、牛久保パストガバナー、板垣地区幹事そして当地区担当の奥野副幹事をお迎えして総勢90名で行われました。

今回のIMは会場や予算の都合もあり、参加5クラブには、役員、理事、入会3年未満の新会員を義務出席ということでご案内申し上げたところ、各クラブとも積極的に参加していただきました。

第2部では、牛久保パストガバナーに魅力あるクラブを目指して「ロータリークラブの活性化」をテーマに45分の基調講演をして頂きました。

クラブの活性度は会員数・出席率・平均年齢・会員増強・年次寄付の金額で表されるということのパワーポイントを使つての図表で大変解りやすく、新入会員にも容易に理解出来たようでした。

第3部の全体会議では本田ガバナー、牛久保パストガバナーにパネラーになっていただき、参加5クラブの各会長にこれまでの活動事例と今回のIMのテーマの「クラブの活性化」とまず結びつく会員増強についての意思表示をしていただきました。

以下、会員増強についてのみ、5RCの発表を記します。

伊勢崎RC（中里盛人会長）

- ・今年度は2名の純増で3年目には80名体制を目指します。年度内にあと2名増強したいと思っています。

群馬境RC（布施光一会長）

- ・会員増強委員長は会長エレクトが担当し、自分の年度を見据えて増強をはかっていきます。
- ・増強委員には若い人を人選し同年代をターゲットにする。

伊勢崎東RC（福島敬仁会長）

- ・現在3名の方にアプローチ中です。
- ・平均年齢が若いのが魅力の反面、事業の中心人物なので夜間例会を多くして出席率の向上と入会をしやすくしていく考えです。
- ・3年間で30人体制に戻りたいので努力します。

伊勢崎南RC（梅田浩行会長）

- ・今のところ具体的な方策は見出されてはいませんが、今迄声を掛けてきた方々が他クラブに入会してしまいショックですが、分区全体を考えれば喜ばしいことと思います。

伊勢崎中央RC（岡村皓司会長）

- ・今日現在では10名の純増となっています。
- ・増強委員の下、プロジェクトチームを立ち上げ、年度内にあと何名か増強できればと考えています。

以上、5RC会長の熱い発表のあとに講評を戴きましたが、その中でガバナーは各会長の熱意・意欲・情熱を強く訴えていました。

さていよいよ第4部の懇親会で参加クラブの皆様と和気あいあいに場を盛り上げて戴き、最後に「手に手つないで」でIMの全てを締めくくる事ができました。



周年記念式典報告

高崎ロータリークラブ 創立60周年記念例会

高崎ロータリークラブは、1954年、昭和29年3月に、日本で118番目のRCとして誕生しまして、本年度60周年を迎えることが出来ました。これもひとえに諸先輩の皆様はじめ関係各位の方々のお蔭と厚く御礼申し上げます。

さて、55周年時に、従来の他クラブの皆様を大勢お招きしての記念式典形式ではなく、内輪での家族的な記念例会にて開催致しましたところ、好評でございましたので、60周年につきましても、同様の記念例会とし、開催目標として、60年の歩みを把握し、60年を心から祝い、そして更なる充実、発展を期する機会にしようということで、特別委員会を設置し、進めてまいりました。

その記念例会は、3月24日（月）、富岡賢治高崎市長、本田博己ガバナー、市内5RC会長幹事の皆様にご臨席頂き、高崎ビューホテルにて、開催致しました。

記念事業につきましては、ロータリー財団の地区補助金を活用させて頂きまして、昨年8月に実施致しました。内容は、高崎市、全公立中学校25校の皆様へ、中学校長会のご希望に沿いまして、自転車各1台、贈呈させて頂くというものでした。自転車には4つのテストの書かれた表示板を取付させて頂き、また「4つのテスト」の書かれた葉も作成し、全生徒、全教職員、約11500名の皆様へお配りさせて頂きました。子どもたちの安心安全、心豊かな子どもの育成等に、役立てて頂ければと考えております。

当日の記念例会ですが、作成しました記念バッチをお配りし、オープニングは、群馬交響楽団の弦楽四重奏を聞きながら、60年の歩みをスライドショーでご覧頂き、途中で、直近5年間の会長による事業紹介及び記念事業をDVDでご覧頂き、最後に、出席に関わる当クラブの各種紹介を行いました。各部門の最上位の方に花束を贈呈、そして、最年長の村山幸雄会員（96歳・当クラブロータリー財団、米山奨学、ニコニコBOXの寄付、最上位）には、3月が誕生日でしたので、ケーキを用意し、全員でハッピーバースデーを歌い、祝い、感動の中で、閉会となりました。



周年記念式典報告

高崎セントラルロータリークラブ 創立 15 周年記念

会長 吉村 修二

桜咲くころ、高崎セントラルロータリークラブ 15 周年の式典が高崎ビューホテルにて開催されました。この 4 月 4 日に、桜開花を友好クラブと約束していました。「創立 15 周年」と「桜を観る会」の同時開催が出来、この上ない良い日を迎えることができました。

今回の 15 周年は、既に台北市の華陽ロータリークラブにて互いの 15 周年の調印式を終え、日本では祝宴を開催しました。

ご存知のように、高崎地区のロータリー承認は、高崎、南、北、東、シンフォニーさんの順です。その間、高崎ロータリークラブが承認された 1954 年は平均株価 330 円。高崎セントラルロータリークラブは 1999 年、16,000 円時に承認されております。時代の変わりを感じます。

また、我がクラブが誕生したことにより新潟地域から分かれ、2840 地区が新潟地域と高崎地域のリーダーによって誕生したことを再認識しました。世界から見ると、一番新しい地区が出来た記念すべき高崎セントラルロータリークラブであり、従来のしがらみにとらわれることなくクラブが活性してゆくことが使命とガバナーから祝辞をいただきました。

30 名そこそこのクラブですが、諸先輩のおかげをもってここまでできました。お忙しい中 御参列いただきありがとうございます。また、台北市華陽ロータリークラブさんの東日本大震災の寄付金、本当にありがとうございました。

最後に出席いただいた御来賓を紹介させていただきます。

1. 当クラブの名誉会員 高崎市長 富岡賢治様
2. 同じく、当クラブの名誉会員 高崎商工会議所 会頭 原浩一郎様
3. 国際ロータリー第2840地区ガバナー 本田博己様

パストガバナー 山崎學様 第3分区ガバナー補佐 浅田千秋様

4. 台湾から 台北市華陽ロータリークラブの会長ジョンソンはじめ 28 名の皆様
5. 友好クラブ新潟南ロータリークラブの長谷川会長と廣川幹事他 17 名の皆様
6. 友好クラブで親の高崎南ロータリークラブの六角会長と今井幹事他 21 名の皆様
7. 高崎ロータリークラブの富澤会長と森田幹事
8. 高崎北ロータリークラブの立見会長と豊泉幹事
9. 高崎東ロータリークラブの高橋会長と野口幹事
10. 高崎シンフォニーロータリークラブの三浦会長と豊泉幹事

群馬と台湾の架け橋、通訳の井上さん、小山さん、斉藤さん、ロジャーさん、能楽師の下平先生と日本民謡協会の松本さん、コーラスの萩原先生、紙面を通じて感謝いたします。ありがとうございました。



周年記念式典報告

伊勢崎ロータリークラブ 創立60周年記念

伊勢崎ロータリークラブ 会長 中里 盛人

平成26年4月5日に伊勢崎ロータリークラブ創立60周年記念式典および祝賀会を伊勢崎プリオパレスにて挙行了いたしました。

当日は五十嵐清隆伊勢崎市長様、古賀友二伊勢崎商工会議所会頭様、第2840地区本田博己ガバナーをはじめとするご来賓の皆様、県内33クラブ153名のロータリアンの皆様、ローターアクト、ローテックス、青少年交換学生の皆様にご臨席を賜り、盛大に式典を挙行することができました。

式典は、伊勢崎ジュニアオーケストラのオープニング演奏によりはじめられ、10年の歩みとして51年度から60年度のスナップのスライドを放映しました。その後歓迎のご挨拶に続いて、記念事業の発表が行われました。記念事業は伊勢崎駅南口に創立60年+会員74名の数字を合わせ、6074mmのモニュメント付き時計塔を設置することになりました。発表後、齊藤実行委員長から五十嵐伊勢崎市長へ目録の贈呈が行われました。さらに、功績会員への表彰が行われ、ご来賓の祝辞の後記念式典が幕をおろしました。

記念式典の後には祝賀会が行われ式典の厳粛な雰囲気から一転、お酒も入り和やかに、そして友好を深める会が催されました。祝賀会最後には、恒例の『手に手つないで』が会場内全員で行われましたが、伊勢崎ロータリークラブでは、ソングリーダーとハンドリーダーを設け、その甲斐あって会場内全員の『手』が一つになっている光景は圧巻でした。

当日は、年始のご多忙中にもかかわらずご参加いただいた数多くのご来賓の皆様、また県内各地よりご参加いただいた県内他クラブの皆様、心より感謝を申し上げ報告とさせていただきます。ありがとうございました。

報告者 クラブ会報委員長 岸 慈音



周年記念式典報告

前橋ロータリークラブ 創立60周年記念

前橋ロータリークラブ 温井 尚久

前橋ロータリークラブは平成26年4月12日（土）に創立60周年記念式典並びに祝賀会を前橋商工会議所会館にて開催しました。

当日は群馬県知事代理の本多生活文化部長、山本前橋市長、曾我前橋商工会議所会頭、本田ガバナー、四方群馬銀行代表取締役会長、牛腸桐生ロータリークラブ会長をはじめ、地区役員、友好クラブ、県内各クラブの会長・幹事、ロータリーファミリーなど250名を超える方々のご臨席を賜り、盛大に挙行することができました。

式典は坂内創立60周年記念式典実行委員会副委員長の開会の言葉で幕開けし、平方会長の歓迎の言葉、横田実行委員会委員長の式辞に続き、創立60周年記念事業の発表が行われました。記念事業は前橋市に臨江閣正門門扉一式を寄贈するものです。臨江閣は明治中期に県の迎賓館として初代群馬県令である楫取素彦と市内の有志らの協力により建設されたものであり、県の重要文化財に指定されています。続いて、ご来賓の方々より祝辞をいただき、藤澤実行委員会副委員長の閉会の言葉で終了となりました。

その後、会場を移動し、祝賀会が行われました。群馬交響楽団の元メンバーで構成される「カメラータ ジオン」の弦楽四重奏によるミニコンサートからスタートしました。澄み切った音色が厳かさと華やかさを醸し出していました。平方会長の挨拶、牛腸桐生ロータリークラブ会長の乾杯により、祝宴がスタートしました。アトラクションとして前橋ロータリークラブが誇るコーラス部「コール・グローリア」の皆さんが心を込めて歌い上げ、会場は一気に盛り上がりました。そして、懇談の後、ロータリーソング「手に手つないで」を参加者全員で輪になって歌い、閉宴となりました。

終了後の打ち上げでは感極まり涙を浮かべるメンバーもいて、全員で達成感を共有することができました。改めてご臨席いただいた皆様に感謝いたします。本当にありがとうございました。





パストガバナー エッセイ

水彩画制作の楽しみを生涯かけて…

パストガバナー 牛久保 哲男
(2009 ～ 10 年度ガバナー)

今から15年ほど前に始めた水彩画に余暇を充てていますが、日常の雑用が多くて絵に没頭できないのが残念です。

今回の「京都暮色（八坂の塔）」10号と「近江坂本の春」6号は3年前に旅行したものを昨年作品にしたものです。また、「陽光」6号はドイツ旅行の時のものです。

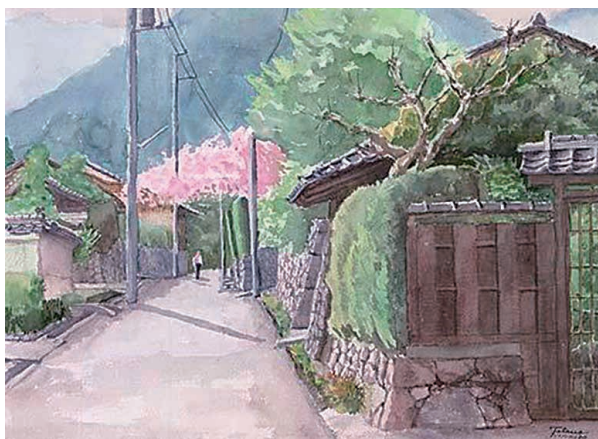
これから何年描けるかわかりませんが、まだまだチャレンジして行きたいと思っています。



京都暮色（八坂の塔）



陽 光



近江坂本の春

ガバナー・コラム **ロータリーの誤解・正解** シリーズ〈第11回〉

第11回 会社は営利を目的としているのか？ ― 試金石としての「奉仕の理念」 ―

ガバナー 本田 博己

前回、ロータリーの「奉仕の理念」が究極の利他主義であると書き終えたことで、「奉仕の理念」については語り尽したような気がしました。しかし、この連載コラムの数少ない？熱心な読者の何人かに「今回は少し難しかった」と感想をいただきました。また、私たちロータリアンが自己の利益より他者への奉仕を優先する「奉仕の理念」という「理想」を信奉する理由や前提となる信念について述べるのを忘れていたことに気がきました。そこで今回は、前号「究極の利他主義としての『奉仕の理念』」の補足説明をしたいと思います。

まずは、事業や専門職務のリーダーである私たちロータリアンが拠って立つ経営理念に対する考え方の問題です。私がこれまで出会った経営者の中には、ロータリアンであれ、そうでない人であれ、経営理念と現実の経営について3種類の違う考え方をする人たちがいました。

一人目は、経営理念についてはあまり興味がなく、利潤の最大化が経営者の仕事と標榜し、実際、利益の追求を最優先させる人です。

二人目は、社是や社訓には「お客様第一主義」を謳っており、内外に表明しているのですが、それは、社長室や会議室の壁に飾られているだけで、実際は顧客満足より売り上げや利益目標の達成を社員に強く求める人です。

三人目は、顧客本位・社員重視の理念を掲げ、現場レベルまで理念の浸透と実践に努め、自身も経営理念と行動実践がぶれなく一貫している人です。

この三人目の経営者がロータリーの「奉仕の理念」を理解し得心するのは容易なのですが、残念ながらこういう経営者は少数派なのです。

会社の目的は、本当に利益の追求なののでしょうか。辞書には、「会社：営利事業を共同の目的として作った社団法人」（新明解国語辞典 三省堂）とあります。高校の「政治経済」の授業でも、企業は利潤の最大化を図るもの、と教わるそうです。辞書は、法律上の「会社」の定義を援用したもの、政経の授業は、企業活動の経済学的な解説だと思います。いずれも、会社や企業の経済的側面を示すものですが、もちろん、企業活動の全体や本質はそれだけで示されるわけではありません。社会の中における会社の役割を考えれば、利益は会社の目的にはなり得ません。

利益は二の次だということではないのです。利益は、企業活動を続けてゆくために欠かせないもの



です。お客様によりよい商品やサービスを提供し続けるため、法人税を払い最低限の社会的義務を果たすため、社員の給料を確保するため、会社を存続してゆくため、利益は必要です。ですから、経営者は利益を出すために不断に努力します。しかし、それでも利益は、会社の目的ではありません。利益は、その会社の商品やサービスの価値をお客様が認め利用していただいた結果であり、会社が存続し、よりよい商品やサービスを提供し続ける条件となります。そういう意味で利益は会社にとって重要なのです。

利益が目的ではないとすれば、会社の目的とは何でしょうか。ピーター・ドラッカー(1909－2005)は、「企業は社会の機関であり、目的は社会にある。したがって、事業の目的として有効な定義はただ一つ、顧客の創造である。」(『現代の経営』)と言っています。その会社のお客様はどうすれば「創造」できるのでしょうか。お客様に喜ばれる、お客様を幸せにする商品やサービスを提供することによって、お客様の信頼を得ることによってしか、お客様は創造できないし、会社は社会やお客様から存在価値を認められません。

ドラッカーは、別のところでこうも言っています。「組織は、…それぞれが社会的な課題を担う、社会のための機関である。…組織の目的は、社会に対する貢献である。」(『断絶の時代』) また、「組織が存在するのは、…自らの機能を果たすことによって、社会、コミュニティ、個人のニーズを満たすためである。」「現代の組織は、それぞれの分野において社会に貢献するために存在する。」(『マネジメント』) つまり、企業であれ公的機関であれ、社会的機関、社会的組織の目的は、「社会貢献」である、と言っているのです。

会社は、その経済的側面から評価するだけでは不十分で、社会に対して果たす役割、社会的価値で評価されるべきだと考えます。先に述べた一人目の経営者、理念なく利益を最優先する経営者は、利益を確保するために、安易に値上げをしたり、コストをカットして商品やサービスの品質を落としたり、人員整理をしたりしがちになります。不祥事を起こす会社は、こういう経営者が率いる会社ではないでしょうか。利益が出ないと嘆く経営者がまず取り組まなければならないのは、「顧客の創造」すなわち、自分たちが提供する商品やサービスがお客様に受け入れられ認められるためには何をどう変えればよいのかを考えることです。

会社の目的は、「社会貢献」すなわち、社会に役立つ価値を提供すること、世の中の役に立つこと、であるということが得心できれば、ロータリーの「奉仕の理念」を、私たちロータリアンが信奉する理由も容易に了解できるでしょう。ロータリーの言う「奉仕」“Service”とは、「社会に役立つ価値を提供すること」「世のため人のために尽くすこと」に他なりません。

もう一つ、補足説明をしなくてはなりません。

前号で、「数多のロータリアンによる奉仕の実践の積み重ねによって、『奉仕の理念』という人生



哲学は、他者のために尽くすことが即、自らの幸せ（喜び）になるという究極の利他主義にまで成長していった」と申し上げました。

確固たる理念がその組織の方向性を定め、発展してゆく原動力となります。理念はころころと変わるようなものではありません。しかし、「不変の」理念も実践によって深化する、私たちの実践が理念を生き生きと輝くものにする、ということを前号では言いたかったのです。

「不易流行」という言葉を使って、ロータリーの理念は不変だが、方法や奉仕実践の分野、組織運営のあり方は時代の要請に適うべく変化させてゆくものだ、とシニアリーダーが解説することがあります。私もこの意見に概ね賛成ですが、ロータリーの「奉仕の理念」は、それが生まれた初期ロータリーの時代のままではなく、100年の奉仕の実践の中で喜びを体感したロータリアンの心の中で磨かれ深化していった、そして現在の私たちロータリアンの実践の中で一層深く、輝きを増し続けていることは忘れないようにしたいと思います。

ただ、ロータリーの「奉仕の理念」の核心に最初から「利他の心」があったのは間違いありません。ロータリーの創始者ポール・ハリスは、機関誌「ナショナル・ロータリアン」の1912年7月号に「人生訓」“Life's Lesson”という文章を寄稿しています。その中で、ポールは、「生きる目的は何か」と自問し「学ぶこと」だと答えています。そして、「何を学ぶために生きているのか」と問い「自己にとらわれないようになること」「自我との決別」を学ぶ、と自答しています。（ポール・ハリス語録『過ぎし時に敬意を表して』）利己から利他へ至る道は、当時も困難な道だったのでしょう。

先日の地区研修・協議会（4月19日 太田ティアラグリーンパレス）では、国際ロータリー田中作次直前会長に「ロータリーの魅力」という演題で特別基調講演をお願いしました。その中で、田中直前会長は、「ロータリーの奉仕とは人のために役立つこと」であり、ロータリーでは「人を幸せにするために奉仕する喜び」を味わうことができる。「人のために役立つことが自分の喜びと感じるのがロータリーの魅力だ」と明快におっしゃいました。

ロータリーの「奉仕の理念」を得心できるかどうかは、私たちの職業観、経営観、倫理観、人生観が利他の心に基づいているかどうかの試金石と言えます。

今回も少し難しかったでしょうか。難しかったとすれば、それは私の文章の拙さのせいではありません。ロータリーに積極的に参加し関わろうとしない人には「奉仕の理念」の神髄を体感することは難しいのかもしれませんが、ロン・バートン会長のテーマ“Engage Rotary, Change Lives”をもう一度噛みしめてみましょう。

クラブ 便り

神戸東灘ロータリークラブとの友好クラブ締結式を迎えて

高崎シンフォニーロータリークラブ
会長 三浦 敦朗
幹事 豊泉 君代

我がクラブは今年度創立19年目を迎えます。7月のスタート時は36名の会員でしたが、現在は4名増えて40名になりました。これまでもたびたび友好クラブをつくりたいという話はでましたが、実現にはいたりませんでした。三浦会長はこの年度で必ずや実現したいと宣言しました。

昨年6月には既に友好クラブ設立準備委員会を立ち上げ、会長、幹事を含め、11人でスタートしました。交通の便や観光の魅力等から考えて金沢方面が良いという意見が多数でした。特に伝もないので、市の観光課とパストガバナーにご協力を仰ぎました。12月までには候補を決めたいと思いましたが、10月始めまであまり進展がなく、6回目の委員会では、金沢方面を白紙にして、またスタートに戻り、多数決で他の候補地をきめることにしました。

その結果1位が神戸のクラブでした。会員の配偶者（他のロータリークラブの会員）が地区大会で以前知り合った大泉の会長が神戸東灘ロータリークラブに移籍していて、こちらの情報が先方に伝わっていました。

10月半ばに友好クラブになっていただきたい旨、連絡すると、すでに理事会も通っていて話はスムーズに進みました。11月には会長、幹事、委員長の3人で神戸を訪問しました。大歓迎を受け、先方も喜んでいることがわかりました。親の親クラブまであり、40年続いている名門クラブでした。

訪問後、準備委員会は実行委員会と名前を替えて、締結式の準備を始めました。3月28日伊香保での締結式は神戸東灘の会員12名（1名はガバナー補佐）我がクラブは23名、そして浅田ガバナー補佐もご出席していただき全部で36名の参加者でした。続いて、懇親会、二次会とおおいに盛り上がり練習を重ねた『そして、神戸』と『湖畔の宿』の歌を全員で歌い大好評でした。翌日の榛名観光も天候に恵まれて、榛名富士にロープウェイで上ると銀嶺の富士山がみえました。

水沢うどんをごちそうして、バスで高崎駅までお送りしました。初対面とは思えないなごやかな交流を持つことができました。赤い糸があるということを実感しました。

末長い今後の継続を祈っています。



クラブ 便り

ロータリー活動を地域の人に知ってもらおう

富岡かぶらロータリークラブ
広報委員会 高橋 敏男



R 財団・米山奨学委員会+クラブ広報委員会
合同プロジェクト活動報告

「アド・トラック」が完成いたしました
平成26年3月8日 運行開始

私たちのクラブでは、ロータリー財団 米山奨学委員会・クラブ広報委員会で合同プロジェクトを組み、ロータリー活動の一環として、「ロータリー活動を地域の人に知ってもらおう」「我がクラブの存在をアピールし会員増強につなげる」「職業奉仕の概念から最小のコストで最大の効果を狙う」を目標に【アドトラック】を提案し、運送会社（新井嘉之社長）のご協力をいただき、【アドトラック】が完成し運行の運びとなりました。

【運行コースのご案内】

群馬県富岡市⇒埼玉県国道 254 号⇒
東京都環状 8 号線⇒第三京浜⇒神奈
川県国道 16 号⇒横須賀
《運行：月曜日～金曜日 毎日運行》

新井ロータリー財団委員長さん
ご協力ありがとうございました





2013-2014 年度 地区主要行事一覧 (下期)

2014年	1月 6日(月)	16:00 第3回ガバナー諮問委員会 18:00 GE壮行会	ラ・フォンテーヌ
	1月18日(土)	10:00 第1回地区補助金審査会	伊勢崎プリオパレス
	1月26日(日)	米山記念奨学生選考会	前橋問屋センター会館
	2月 2日(日)	第4回ガバナー諮問委員会(GE報告)・規定審議会補欠議員選出	前橋問屋センター会館
	2月15日(土)	米山奨学生終了式・奨学生歓送会	前橋商工会議所
	2月23日(日)	新会員セミナー(RLI方式 1日コース)	前橋問屋センター会館
	3月20日(木)~23日(日)	インターアクト国際交流事業	台湾
	3月29日(土)	第2回地区補助金審査会	伊勢崎プリオパレス
	4月26日(土)	10:30 地区補助金最終審査会	前橋問屋センター会館
	4月25日(金)~26日(土)	インターアクト国際交流事業(受け入れ)	高崎商科大学
	4月27日(日)	新規米山奨学生カウンセラーセミナー	前橋問屋センター会館
	4月27日(日)	新規米山奨学生カウンセラー・米山奨学生オリエンテーション	前橋問屋センター会館
	5月25日(日)	16:00 第5回ガバナー諮問委員会	群馬県庁
	5月25日(日)	18:00 現新地区役員連絡会議	群馬県庁
	6月1日(日)~4日(水)	国際大会	シドニー
	6月15日(日)	米山記念奨学生学生会総会	前橋商工会議所
	8月	会計監査報告	

2014-2015 年度 地区主要行事一覧 (年度前・上期)

2014年	1月12日(日)~18日(土)	国際協議会(竹内ガバナーエレクト出席)	サンディエゴ
	3月 2日(日)	地区チーム研修セミナー	太田 ティアラグリーンパレス
	3月15日(土)~16日(日)	会長エレクト・次年度幹事セミナー(PETS・SETS)	伊香保 福一
	4月 6日(日)	第2回ガバナー補佐・委員長合同会議	前橋問屋センター会館
	4月19日(土)	地区研修・協議会(旧:地区協議会)	太田 ティアラグリーンパレス
	5月24日(土)	am:第2回ガバナー補佐会議 pm:会員増強セミナー	前橋問屋センター会館

2013-2014 年度 IM 開催一覧

分 区	開 催 日	開 催 場 所
第1分区	2014年5月18日(日)	前橋商工会議所
第2分区-A	2014年3月22日(土)	桐生プリオパレス
第2分区-B	2014年3月23日(日)	ニューいづみ
第3分区	2014年5月11日(日)	高崎ビューホテル
第4分区-A	2014年3月 9日(日)	太田グリーンパレス
第4分区-B		
第5分区	2014年2月 9日(日)	アネーリ渋川
第6分区	2014年2月22日(土)	ホテルアミューズ富岡

2013-2014 年度 周年行事予定クラブ

ク ラ ブ 名	周 年	予 定 日	開 催 場 所
前橋中央	20	2014年3月 1日(土)	前橋商工会議所
富岡中央	20	2014年3月 8日(土)	ホテルアミューズ富岡
高崎	60	2014年3月24日(月)	高崎ビューホテル
高崎セントラル	15	2014年4月 4日(金)	高崎ビューホテル
伊勢崎	60	2014年4月 5日(土)	伊勢崎プリオパレス
前橋	60	2014年4月12日(土)	前橋商工会議所
館林東	30	2014年4月20日(日)	レストラン ジョイハウス
渋川みどり	20	2014年4月29日(火)	アネーリ渋川
前橋西	50	2014年5月10日(土)	前橋中央イベント広場(式典)・前橋テルサ(記念事業)
藤岡	50	2014年5月17日(土)	藤岡市みかぼみらい館
伊勢崎東	20	2014年6月13日(金)	伊勢崎プリオパレス

新会員紹介



新会員名 斉藤美絵
ク ラ ブ 前橋
入 会 日 2014年3月4日
職業分類 食品製造・販売
勤 務 先 斉藤クリエート食品(株)
役 職 専務取締役経営企画室長
推 薦 者 曾我隆一



新会員名 鈴木敏文
ク ラ ブ 前橋
入 会 日 2014年3月18日
職業分類 旅行
勤 務 先 (株)JTB 関東 法人営業群馬支店
役 職 支店長
推 薦 者 津久井 勇



新会員名 青山 豊
ク ラ ブ 桐生西 RC
入 会 日 2014年4月18日
職業分類 レンタルサービス業
勤 務 先 (有)ダスキン渡良瀬
役 職 代表取締役
推 薦 者 正田恵一



新会員名 齋藤 学
ク ラ ブ 桐生西
入 会 日 2014年4月18日
職業分類 税理士
勤 務 先 齋藤学税理士事務所
役 職 所長
推 薦 者 高森 勉



新会員名 伊丹 伸治
ク ラ ブ 高崎北
入 会 日 2014年4月9日
職業分類 ホテル
勤 務 先 日本ビューホテル(株)高崎ビューホテル
役 職 総支配人
推 薦 者 立見 壽士・豊泉 洋一



新会員名 西村 浩一
ク ラ ブ 高崎北
入 会 日 2014年4月9日
職業分類 医薬品製造
勤 務 先 協和発酵キリン(株)高崎工場
役 職 工場長
推 薦 者 安藤 震太郎



新会員名 多賀谷 敏晴
ク ラ ブ 太田
入 会 日 2014年4月3日
職業分類 結婚式場
勤 務 先 (株)メモリード
役 職 執行役員
推 薦 者 石川 重政



新会員名 石橋 薫
ク ラ ブ 渋川みどり
入 会 日 2014年4月8日
職業分類 葬儀業
勤 務 先 (有)武内葬儀舎
役 職 取締役 社長
推 薦 者 木村 幸雄



新会員名 伊花 明美
ク ラ ブ 渋川みどり
入 会 日 2014年4月1日
職業分類 主婦業
勤 務 先
役 職
推 薦 者 田子 文明



新会員名 小曾根 一雄
ク ラ ブ 沼田中央
入 会 日 2014年4月24日
職業分類 サービス業
勤 務 先 沼田商工会議所
役 職 専務理事
推 薦 者 生方 彰



文庫通信 (320 号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー情報

- ◎「ロータリー活動で感じたこと」 田中作次 2014 5p (D.2550 月信)
- ◎「日本ロータリーの精神伝統 その1・2」 深川純一 伊丹 R. C.
2010 2p (純ちゃんのコーナー Part IX)
- ◎「ロータリーの伝統 その1～3」 深川純一 伊丹 R. C. 2013 3p
(純ちゃんのコーナー Part X II)
- ◎「少会員クラブの運営に思うこと」 安孫子貞夫 2014 1p (D.2800 月信)
- ◎「ロータリアンその使命と魅力」 大迫三郎 2013 3p (D.2730 月信)
- ◎「ロータリーの原点とは？」 本田博己 2013 3p (D.2840 月信)
- ◎「ロータリー理解推進月間によせて“温故知新” 奉仕の理想など」
諏訪昭登 2014 1p (D.2710 月信)
- ◎「ロータリー・ファミリーの素晴らしさ」 飯村愼一 2013 1p (D.2550 月信)
- ◎「あの素晴らしい MR. ハリスと世界を変えたそのクラブ」 R. I. ; 肥爪彰夫訳 2012 [15p]
- ◎「驚くべきポリオの話! (ロータリーの冒険)」 R. I. ; 肥爪彰夫訳 2013 [15p]

[上記申込先: ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

第2840地区

3月出席報告

クラブ数	会員数					
	年度初	月初	月末	純増減会員数	女性会員	当月出席率
46	1,875	1,928	1,916	-12	83	83.32

クラブ名		例会数	出席率 (%)	会員数				
				年度初	月初	月末	増減	女性
第1分区分A	前橋	4	85.75	111	113	112	-1	8
	前橋西	3	86.95	52	53	53	0	3
	前橋東	4	77.88	65	68	68	0	5
	前橋北	5	88.12	64	69	68	-1	5
	前橋南	4	94.12	32	34	34	0	0
	前橋中央	4	79.63	33	29	29	0	6
	合計		85.41	357	366	364	-2	27
第2分区分A	桐生	5	79.05	61	62	62	0	0
	桐生南	4	76.00	23	25	25	0	1
	桐生西	3	96.48	53	51	51	0	1
	桐生中央	4	76.92	24	26	26	0	4
	桐生赤城	4	89.54	42	42	41	-1	5
	合計		83.60	203	206	205	-1	11
第2分区分B	伊勢崎	4	94.58	72	74	74	0	0
	群馬境	4	85.94	29	28	27	-1	1
	伊勢崎中央	4	90.63	64	74	73	-1	0
	伊勢崎南	3	85.71	21	21	21	0	1
	伊勢崎東	5	87.86	30	28	28	0	1
	合計		88.94	216	225	223	-2	3
第3分区分	高崎	4	88.85	61	65	64	-1	0
	高崎南	4	78.51	62	63	64	1	4
	高崎北	4	68.09	63	72	70	-2	0
	高崎東	5	81.06	37	36	36	0	1
	高崎ソフオー	3	73.33	36	40	40	0	4
	高崎セントラル	4	70.07	34	35	33	-2	0
	合計		76.65	293	311	307	-4	9

クラブ名		例会数	出席率 (%)	会員数				
				年度初	月初	月末	増減	女性
第4分区分A	太田	4	92.75	69	69	67	-2	3
	太田西	4	82.20	15	18	18	0	2
	太田南	3	81.81	38	36	38	2	0
	新田	4	81.58	23	19	19	0	0
	太田中央	3	83.33	44	44	44	0	2
	合計		84.33	189	186	186	0	7
第4分区分B	館林	3	85.93	44	45	45	0	0
	大泉	5	75.00	25	28	28	0	2
	館林西	4	88.15	20	19	19	0	0
	館林東	4	86.00	25	27	27	0	2
	館林シニア	4	94.69	25	25	24	-1	0
	合計		85.95	139	144	143	-1	4
第5分区分	渋川	4	95.61	54	54	52	-2	4
	沼田	4	77.95	60	61	61	0	1
	草津	4	71.35	16	16	16	0	1
	中之条	4	85.28	23	22	22	0	1
	沼田中央	4	81.48	51	55	55	0	1
	渋川みどり	4	71.54	40	42	42	0	2
	合計		80.54	244	250	248	-2	10
第6分区分	富岡	3	92.19	48	48	48	0	4
	藤岡	4	89.68	43	46	46	0	2
	安中	4	73.39	28	31	31	0	0
	藤岡北	4	80.12	14	16	16	0	2
	富岡中央	4	90.52	42	40	40	0	1
	碓氷安中	4	78.57	14	14	14	0	2
	藤岡南	3	83.34	17	18	18	0	1
	富岡かぶら	4	74.99	28	27	27	0	0
合計		82.85	234	240	240	0	12	



ガバナー月信についてのお願い

- ガバナー月信の配信は、毎月 1 日です。

また、2840 地区ホームページ <http://www.rid2840.jp> でも閲覧可能です。

- 出席報告の締切りは、毎月 14 日です。

出席報告は地区ホームページのトップページより入力してください。

なお、IDとパスワードは各事務所で御承知と思いますが、不明なクラブは本田ガバナー事務所までお問い合わせください。

- 原稿の締切りは、毎月 15 日です。ワードまたはエクセル書式で作成の上、メール添付し、本田ガバナー事務所 honda@rid2840.jp まで送信してください。

なお、写真等の画像がある場合は、デジタルデータでお送りください。

- 新会員情報並びに訃報の締切りは、毎月 15 日です。

(15日以降のご連絡分につきましては、次月号の掲載となります。)

新会員につきましては氏名、入会日、職業分類、勤務先、役職、推薦者氏名を記入の上、写真を添えて、メールにて本田ガバナー事務所までお送りください。なお、訃報につきましてはクラブ会長様に 250 字以内で追悼文を作成いただき、メール添付をお願いします。

※この月信のPDFデータを印刷して、各クラブの第一例会で会員の皆様に回覧いただきたくと共に会長の時間の中で要点を会員へお伝えいただければ幸いです。

編集後記

早いもので本田年度も残り2か月となりましたが、まだまだ事業は続きます。

今回は第2分区A、第2分区Bで行われたIM報告を掲載しました。

IMは本田年度で久しぶりに復活し、各地で大いに盛り上がっています。

高崎RC、伊勢崎RC、前橋RCの60周年、高崎セントラルRCの15周年記念式典が行われました。「温故知新」、各クラブとも歴史、伝統を振り返りつつ、未来へ向けて新たなスタートを切っています。

地区補助金審査会では申請書と報告書の審査が熱心に行われました。

竹内年度も地区研修・協議会が行われ、準備が整ったようです。

ガバナー月信も6月号、終刊号の2回を残すところとなりました。

最後までご協力をよろしくお願いいたします。

2013-14 年度ガバナー月信編集長 温井 尚久（前橋RC）